

# エーデルワイス通信

7月号

2022年6月30日発行 制作 坂井印刷

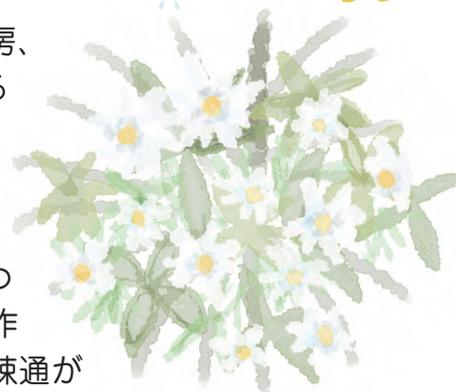
自分から始まった人生！  
道産子根性を忘れず  
地域でねばこく生きよう！



## お知らせ



いよいよ7月ですね！先月は、困難な出来事も介護現場の看護・介護・環境衛生・厨房、買い出し職員等がチームで団結し、北見市・保健所の皆様のお力もお借りし蔓延を避けることができました。家族様からも「誠心誠意頑張っていたいただきありがとうございます。」と、励ましのおことばもいただき心強く、前に進む勇気をいただきました。しかしながら、オホーツク管内では、病院、施設、高齢者住宅等、まだまだ感染が衰えず、今後、インフルエンザも含め新たな感染ウイルスが侵入する危険もあるかと気を引き締めております。今回の経験を無駄にしない為にも、紙面にてご判断をいただきたい内容を作成いたしましたので、お手元に届きましたら家族様一同のご意見を賜り、感染時の意思疎通がスムーズになる目的でご返信いただければ幸いです。現場は、今後の緊急時に備え更に看護・介護力を高める勉強会を近々で予定し「持ち込まない、持ち出さない」を合言葉に今後も励んでまいりたいと思います。

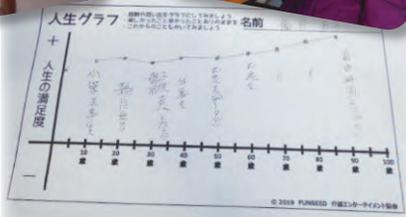
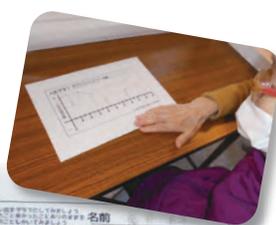


## 機能訓練重視型デイサービス 華蓮 (かれん)

みなさん2階の訓練に行くことも目標にされている方も多く、四方を見渡せる大きなガラス窓からは、野球グラウンドの練習光景や緑も多く満足しながら機能訓練に励んでいただいております。また、1Fでは、脳トレに集中され「これは、いいもんだね・頭も使うし・機械で足もマッサージして若返りそう」と笑顔も見られてました。自宅では、訪問介護さんが見えたりお弁当が届いたり台所へ立たない時間が増している方も、華蓮では自ら台所で皿洗い等行っていただき活性される場面が多くみられております。役割を持つ事で意欲が高まり食事量も増えています。身体を動かすことは、身体機能ばかりではなく体全身への意欲の高まりになると現場から教えられることが多いです。7月は、巧緻動作訓練や感染対策を図りながら数名での今の時期の季節を味わいに出かけたいと思います。



## ものわすれ専門デイサービス エーデルワイスⅢ号館



若者たちが多い、デイサービスⅢ号館、新しい取り組みに挑戦です。「人生グラフ」という人の一生をグラフに置き換え、どのような人生を過ごされてきたかをご利用者様がお一人ずつ発表のレクをしました。皆様の今までの楽しかったこと大変だったことなどの思い出をグラフにし、一人一人発表していただきました。「あの時代は忙しい」「働いた働いた」「今は幸せだ」と皆様口をそろえておっしゃっていました。過去を振り返り、頑張ってきた人生を思い出すことで自分を認め苦しいことも、辛いことも消し去るよう堂々と述べていただきました。

## ものわすれ専門デイサービス エーデルワイス五号館

6月末には、猛暑日もあり、熱中症や脱水にならないようこまめな水分補給をして頂いております。

今月、五号館では新しい利用者様も数名通所されました。何とか皆さんの関係性を良くさせていただこうと、餃子作りを行いました！昔の生活を思い出され、会話が弾んでおりましたが、途中で「こうしたらいいわー」と餃子作りをしながらも、口も手もしっかりと動かされ、あっという間に50個ほど完成しました。その日のご利用の皆様と一緒に取り組み、笑う事で脳活性にも繋がりました。今後も一日一日を楽しんで頂けるようご支援させて頂きたいと思っております。





## グループホーム エーデルワイス

グループホーム1番地は、大好評である棒体操を定期的を実施しております。専用の棒を持ち、かたたたきの歌とソーラン節のメロディに合わせて全利用者様が笑顔で取り組まれています。S様「これね。面白いよね。楽しみなの。」、M様「懐かしいメロディだね。ソーラン節好きだよ。ヤーレンソーラン!!」と元気よく楽しみながら身体運動を実施されております。2番地は書道教室を夏のテーマに沿って、行いました。M様も「これにする。天の川だよ。」と真剣に書かれました。



## 訪問介護事業所 エーデルワイス

6月は、シンフォニーで過ごす時間が長くなりましたが皆様、緊張感があるなかにおいてもとても、ご理解をいただき、皆様に協力していただきました。

毎日、居室に入らせていただき汚物の対応や、室内の環境を整え感染防止対策や、食事量の把握や服薬支援を実施させていただきました。

今後も、引き続き感染防止対策の徹底をはかりご支援させていただきます。7月は、明るく楽しく暮らしましょう。



## サービス付き高齢者向け住宅 エーデルワイスシンフォニー

5月は、畑にかぼちゃ、キュウリ、ヒマワリなど苗を植えました。「ここに植えた方が、咲いたらみんな、見れるからいいね〜」「楽しみだね〜」など楽しそうでした。6月には、予期せぬコロナウイルス感染があり、感染対策、行動も規制されましたが、「もう少しだね、頑張ろうね〜」など力強い言葉を頂き、感染が広がることなく終息を迎えました。ご心配をおかけしました。



## 編集後記

あとがき担当は、デイサービスⅢ号館、管理者江嶋が今月担当します。Ⅲ号館のスタッフは、年齢層がとても若く、少し先輩から新入社員にも、自分がこれまで体験した仕事以外のことも含め何でも、話し合い、悩みの解消や仕事のルールなど、真面目に聞いていただき、最近では、どんどん成長するように見受けれます。ご利用の皆さんとも、どのようなゲームが良いのか相談し希望が多いのが、おやつを用いたゲームで、とても評判が良く、初めてのゲームにも意欲的に楽しく取り組んでいただけています。今後も初心を忘れないように頑張りたいと思います。



## きたほっと食堂

北見市内の感染が収まらず、緊張感をもって皆様自宅で過ごされております。今後は、状況を見ながら数名の人数限定の中で実施出来ればと考えております。

ヘルプカード災害時版も、介護現場では作成中です。地域においても希望者はご連絡ください。